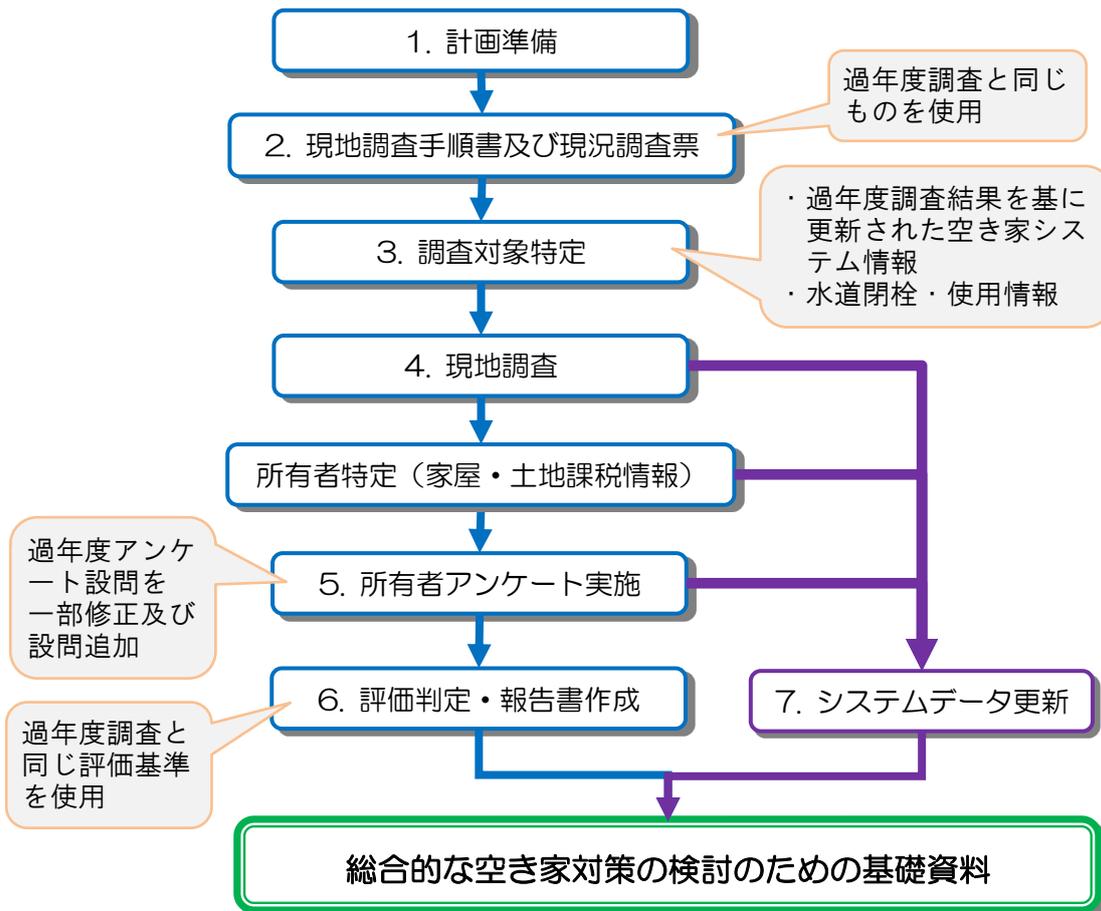


茅ヶ崎市空き家実態調査の進捗について（速報）

1. 目的

市内全域に存在する戸建て住宅のうち、空き家を対象として実施された平成 27 年度空き家実態調査の結果を基に、令和元年度空き家実態調査を実施した上で情報更新を行うことにより、空き家の適正管理、利活用及び発生予防の総合的な空き家対策の検討のための基礎資料とすること。

2. 作業の流れ



3. 現地調査対象（令和 2 年 1 月 31 日時点）

① 既存把握情報 【1,263 件】※

過年度調査結果を基にしたシステムデータを苦情情報や除却等により市職員が更新した情報（2019(令和元)年 8 月末現在 1,418 件）のうち、2015(平成 27)年と 2019(令和元)年の住宅地図を比較し、除却や解体後に分譲や新築となっていた 155 件を除いたもの。

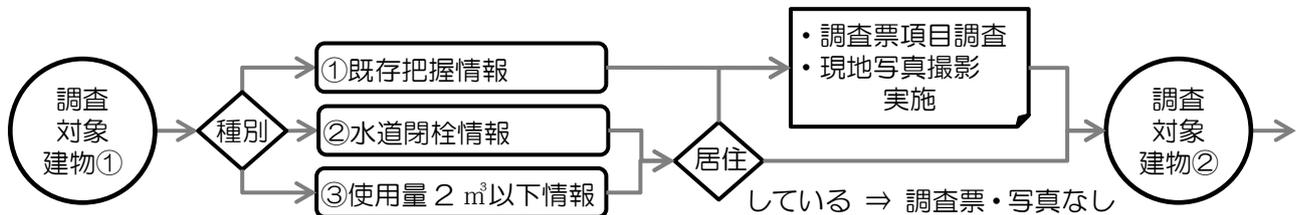
② 水道閉栓情報 【1,649 件】※

2018(平成 30)年 4 月～2019(平成 31)年 3 月に水道閉栓情報のあったもの（閉栓後に使用量ありのものを除く）のうち、公共施設や集合住宅、駐車場、散水栓、改築・新築時の一時利用を除いた上で地図上に展開し、「①既存把握情報」と同一箇所であるものを除外した上で、2019(令和元)年の住宅地図での家屋有無や同一住居表示で複数の家屋がある箇所を家屋名称等で精査したもの。

③ 使用量 2 m³以下情報 【551 件】※

2018(平成 30)年 4 月～2019(平成 31)年 3 月の間の各調定使用量において、全て 2 m³以下であるもの（閉栓情報があるものを除く）のうち、「水道閉栓情報」同様の地図上での除外や精査を行ったもの。

4. 現地調査実施の流れ



5. 現地調査実施結果（令和 2 年 1 月 31 日時点）※

種別	調査件数	空き家でない(※1)	空き家(※2)
① 既存把握情報	1,263	558	705
② 水道閉栓情報	1,649	1,025	624
③ 使用量 2 m ³ 以下情報	551	304	247
合計	3,463	1,887	1,576

(※1) 「空き家でない」には、「洗濯物がある」「住人がいる」などの居住を確定する判断材料があるもののほか、建物除却や解体中、新築や改築等が含まれる。

(※2) 「空き家」と分類したものは、「『空き家でない』ことが確定する以外のもの」であることから、居住や使用中の可能性もある。また、「③使用量 2 m³以下情報」では、別荘や物置としての利用が含まれる可能性がある。これらは、所有者アンケートの回答により、空き家でないことが判明する場合も想定される。

上記の調査結果より、過年度調査件数を含めた現在までに把握された空き家 1,418 件のうち、約 50%（図上 155 件+現地調査 558 件=計 713 件）が明らかな解消となっていることが分かる。

6. 所有者アンケートの実施

所有者アンケートは、家屋課税情報等を基に所有者等送付先を特定し、海外在住の 18 件を除いた 1,558 件に発送を実施した。

アンケート回収状況については、令和 2 年 1 月 31 日現在 546 件回収している。

※については、現在調査結果を分析中のため、今後数値が変わる可能性があります。